

リーディングDXスクール事業【実践事例】

岩沼市立岩沼北中学校（宮城県）【指定校】

【取組内容】 ルーブリックの活用による学習状況の可視化と自己調整力の育成

【概要】

本校では、ルーブリックを作成し授業で生徒と共同編集して活用することで、教員は生徒の学習の様子をリアルタイムに把握することが可能になり、生徒は見通しをもって学習に取り組むことにつながっています。

【使用するアプリ 等】

Googleスプレッドシート、Google Classroom、生成AI

【活用の流れや工夫点、生徒の様子 等】

- ・ループリックには、「単元の目標」「単元の評価基準」「単位時間での目安の学習内容」等の項目を提示し、単元での「自分の目標」「単位時間の目標」、「振り返り」について生徒が入力をします。
- ・ループリックは単元毎に作成し、単元の初めの時間に学習の進め方や評価について生徒と確認をします。
- ・クラウドを活用し生徒と共同編集したことで、教師からは「生徒の状態を把握しやすい」「良い気付きを生徒に紹介しやすくなった」といった声が寄せられています。
- ・生徒アンケートからは「どんな内容を次にするかわかるから、どんな視点をもって取り組みばよいかわかりやすい」「評価の基準が分かり、目指すところが明確になった」という感想が寄せられています。
- ・生徒が入力するタブの複製に当たっては、生成AIを活用してスクリプトを作成したことで、ループリックの作成時間短縮につながっています。

	第 5 章	平面図形	17 時間扱い
単元の目標	図形の移動を理解し、基本的な作図ができるようにしよう。		
自分の目標	図形の移動の仕方を覚え、色々な作図の仕方を覚える。		
全体の評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	- 平行移動、対称移動及び回転移動について正確に理解している。 - 平面図形に関する作図方法の意図と使い方を正確に理解している。 - 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を正確に理解している。 - おうぎ形の弧の長さと面積を求めることができる。	- 図形の移動に着目し、2つの合同な図形の關係について適切な理由を用いて正確に説明できる。 - 線対称な図形の性質をもとにして、基本的な作図の方法を論理的に説明できる。 - 図形の移動や基本的な作図を具体的な場面でも線対称な方法で活用できる。	- 平面図形の性質や關係を捉えることの必要性和意味を述べて考えようとしている。 - 平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 図形の移動や基本的な作図を活用して問題解決の過程を振り返ってより良い方法を検討しようとしている。
B	- 平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 - 平面図形に関する作図方法の意図と使い方を理解している。 - 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 - おうぎ形の弧の長さと面積を求めることができる。	- 図形の移動に着目し、2つの合同な図形の關係について説明できる。 - 線対称な図形の性質をもとにして、基本的な作図の方法を説明できる。 - 図形の移動や基本的な作図を具体的な場面でも活用できる。	- 平面図形の性質や關係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 - 平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 図形の移動や基本的な作図を活用して問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
時間	日付	学習内容	今日の目標 (各日ご記入)
1時間目	11/7	・パツワークの模様を合同な図形で示しながら作っているため、1つの図形を移動させて正六角形の模様をつくっている。	平行移動を見る。 B
2時間目	11/11	・正六角形の模様の中心の2つの図形の關係を移動の仕方で見直し、回転移動について知る。 ・平行移動の性質をもとにして、ある図形を平行移動させた図形を書く。 [用語・記号] 直線A、線分AB、半直線A、半直線AB、△ABC、平行移動、//	記号の意味を見る。 A
3時間目	11/12	・正六角形の模様の中心の2つの図形の關係を移動の仕方で見直し、回転移動について知る。 ・回転移動の性質をもとにして、ある図形を回転移動させた図形を書く。 ・点対称な図形を回転移動の仕方で見直し、[用語・記号]、//	回転移動を見る。 A
+ 三 テーブル① 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12			

英語

現在進行形の肯定文・疑問文・否定文、感嘆文の形・意味・用法を理解して、正しく書いたり話したりすることができる。
今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。また、自分のことについて英語で答えることができる。
教科書の内容を正確に読み取ることができる。

即興Who am I? クイズで問題を出したり、答えたりできるようになる!

Unit8の自分の目標：感嘆文をつかった文章をすらすらかけて読めるようになる。

全体の 評価基準		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
A		- 場所を表す前置詞 (by/under/on/in) や動名詞 (～すること)。一般動詞の活用形を使って、自分のことについて正しく英文を書くことができる。 - Unit7で学習した文法を使って、自分のことや相手のことについて話したり、話したり、書いたり、伝えることができる。	相手が何をしているのか質問したり、質問されたことに答えることができる。さらに、相手の返事に対して一貫的たり、答えるときに一文を加えたり、より具体的に答えている。	- 友達やALTなどのやりとりや授業の様々な課題に対して粘り強く取り組んだり、自分の考えを伝えながら学習に取り組んでいる。 - 学習した表現を使って書いたり話したりするなど、毎週ほとんど英語を使ってコミュニケーションをとっている。
B		- 現在進行形や感嘆文の作り方や節構、使い方はほぼ理解している。 - Unit8で学習した文法を使って、書いたり話したりすることができる。	相手が何をしているのか質問したり、質問されたことに答えることができる。	- 友達やALTなどのやりとりや授業の様々な課題に取り組んだり、自分の考えを伝えながら学習に取り組もうとしている。 - 学習した表現を使って書いたり話したりするなど、いつもよりも多く英語を使ってコミュニケーションをとっている。
		○学習の目標 ・学習内容	【学んで分かったこと】 ～ひとりのことがわかった。～ひとりのことが理解だ。 ～他者がとる意見が面白かった。 ～このような考え方をできるのではないかな、など	【学び方について】 毎週のペースを守って学習するときに使ったツール 学習の仕方や方向性（一人でもグループでもワークシート・インターネットなど）を大切にしよう
時間	日付			
7	12/11	Q Who am I ? クイズに即興で取り組み	Who am I クイズをして、現在進行形の使い方と、聞き取ることで出来たかをしっかり理解できたのでとても良かったです。	自分で言っていなくても、聞き取る力をしっかりと身につけることが出来るのでとても良かったです。
8	12/10	O L e t ' s Write でグリーンディングカードをジョン先生に送る！	ジョン先生に作る年賀状カードを英語でしっかり作ることが出来て良かったです。他の国のカードの作り方もしっかり覚えることが出来ました。	年賀状をしっかりと時間に合わせて作ることが出来たので良かったです。
Unit8の振り返り		ユニット8の単元を学んで、感嘆文の使い方や現在進行形の使い方についてをよく覚えることが出来ました。現在進行形の使い方は少し出ないと思うところがあるので、しっかりとやり方から覚えておくように復習しておきたいです。		
		+ 三 名前： _____ 英検のレベルアップ - 7月期目標レベルアップ - 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 、		